



2歳児のうさぎ組は最近、洗濯ばさみを手や足に見立てて好きなキャラクターを作ったり、スプーンを使って友達とままごとをしたりして楽しんでいます。

洗濯ばさみを使う時は指に力を入れないといけないため、一人では難しい子もいますが保育士と一緒にやり、できたことを喜んでいます。キャラクターの手や足だけでなく、髪の毛やツノなど子どもたちの様々な発想で面白い作品が出来上がっています。

ままごとコーナーや給食の机にスプーンの持ち方のイラストを設定し、少しずつ正しい持ち方を意識できるようにしています。楽しく遊んだり、食事をしたりしてほしいので声をかけすぎないようにしていますが、友達が褒められている姿を見て自分からやってみようと挑戦する姿も見られます。